



第
100
号

発行日：2025年11月1日

発行：特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム
(大津市地球温暖化防止活動推進センター)

住所：〒520-0047大津市浜大津四丁目1番1号明日都浜大津4階

電話：077(526)7545

フォーラムHP: <https://eco-otsu.net>

Eメール(事務所): forum@eco-otsu.net



＜事務局長から＞ おおつ環境フォーラムの”活動だより”は、今号で記念すべき100号を迎えました。令和7年度前期事業も皆様のご協力により順調に進み、後期事業に取り組んでおります。次年度事業計画作成に向け、大津市が「ゼロカーボンシティ」を宣言している今、各プロジェクトが、地球温暖化の視点を意識した取り組みになるよう勧めております。皆様方の力強いご支援ご協力をお願いいたします。晩秋 向寒の候、ご自愛くださいますように。



会員数107名 (2025年10月末現在)

■トピックス

○ 地球温暖化NOW！を開催しました

9月13日、明日都浜大津ふれあいプラザに京都大学総長特別補佐で名誉教授の中北英一氏をお招きし、地球温暖化防止セミナー「地球温暖化NOW！～気候変動が豪雨に及ぼす影響と私たちの暮らし～」を開催し、オンライン、スタッフを含め総勢45名が受講されました。



近年、大雨の回数が増えただけでなく時間降水量が増え、土砂災害や洪水が増えてきました。温暖化により海水温が高くなり、平成30年7月豪雨では温暖化の影響がなかった1980年代に比べ降水量が6～16%増加していることがシミュレーションで分かっています。温暖化で豪雨がさらに激化することが見込まれるため、治水対策未整備河川がいまだ多いなか、治水目標自体の強化も必要です。台風は温暖化で発生数は減るものの、発生すると非常に強い台風となります。行政による河川整備もさることながら、ハザードマップの確認など個人の努力も必要です。また、CO₂排出削減を進めないと、治水対策費用や災害による損害の増大が必至となります。

○ 自然家族事業 里山の日①「ビオトープで生きものつかみ」を開催しました

9月20日、県営春日山公園のビオトープ池で自然家族事業里山の日①「ビオトープで生きものつかみ」を開催し、申し込み35家族から抽選で選ばれた10家族31人(うち子ども19人)が参加されました。



5月の「オタマジャクシと遊ぼう」が天候不順のため中止となり、名称を変えての開催です。今夏は猛暑続きで、タープを設置しましたが、天気は曇りで最高気温も27℃と快適な気温となりました。あいさつと注意説明の後、どろんこすくい作業をしました。二人一組で、スコップで泥をすくい、バケツで受けて捨てる作業を分担し、交代しながら作業しました。つぎは、ざるを使って泥水の中の生きものを探します。メダカやドジョウ、スジエビ、ヤゴ、ミズカマキリ、ゲンゴロウ、マツモムシなどが見つかりました。はじめは泥水に入りたい子どももいましたが、父母が先に入って声かけすることでようやく入ることができ、どろんこを楽しめました。最後に見つけた生きものを発表し、そして「池の生きものがこれからも棲みやすくするには」をみんなで考えてもらいました。



○ おおつ市民環境塾講座6「ヨシ原の変遷と生物多様性」を開催しました

9月27日、ふれあいプラザにておおつ市民環境塾講座6「ヨシ原の変遷と生物多様性」を開催し、14人が参加されました。

前半は滋賀県琵琶湖環境部主任主事の土田真由氏からヨシの生態や人とのかかわりと活用、そして行政・地域・事業者の連携によるヨシ群落保全の取組事例が紹介されま



した。「ヨシ群落保全は・・・湖国の風土や文化を守る大きな意義を持っています(県条例第17号前文)」。

後半は、琵琶湖博物館総括学芸員の大塚泰介氏から、ヨシはどんな植物でどのようにして増えるのか、ヨシ帯の生物、ヨシ帯の水質浄化機能、琵琶湖総合開発で湖岸堤が建設されたことによるヨシ帯の破壊とその後の科学的知見に基づくヨシ帯再生について丁寧な説明がなされました。ヨシによる生物多様性の保全機能や水質浄化機能を最大化するにはヨシの生態を理解することが必要です。冬のヨシ刈りも理解を欠くと逆効果に！

○ 3つのイベントに出展しました

【エネルギープロジェクト】9月21日、ランチ大津京で開催された「リサイクルフェア2025」に出展し、当センター発行の小冊子「家庭の省エネ簡易診断」を使って省エネ簡易診断を実施しました。また、10月19日には明日都浜大津で開催された「2025おおつ健康フェスティバル」にも出展し、同様の省エネ簡易診断を実施しました。診断受診者には、お礼として簡易温湿度計を、暑さ指数簡易早見表を添えてお渡ししました。リサイクルフェアでは55人、健康フェスティバルでは57人と予想を大幅に超える方々が受診され、用意した簡易診断小冊子が払底するほどでした。



【ビオトープづくりプロジェクト】9月27日・28日に京都府立植物園で開催された「きょうといきものフェス2025」に出展しました。北大路どろんこと一ぶ周辺で採取した生きものを飼育ケースなどに入れて観察してもらいました。その生きものを線描きしたオリジナル塗り絵が好評で、約400枚が使われました。仕上げた作品を大事そうに持ち帰る姿が印象的でした。フェスには2日間で約1万人が来場されたそうで、生きものの好きの家族連れがとて多く、豆博士や専門家もおられ、たくさんの刺激をいただいた2日間でした。



プロジェクト等からの活動報告・お知らせ

《エネルギープロジェクト》

9月17日、仰木の里西自治会集会所で同自治会会員10人を対象におおつエコライフチャレンジ(エコチャレ)と家庭の省エネ簡易診断についての出前講座を実施しました。

エコチャレについては概要説明後、実際に操作していただきました。また、家庭でできる環境にやさしいライフスタイルの提案と、節電や省エネ、住宅の断熱改修などについての説明を行いました。

■これからのフォーラム活動

プロジェクト等の名称	日 時	場 所・内 容 []内は予備日
プロジェクト		
ビオトープづくり	11月 8日(土) 9:00	春日山公園//備品チェックや草刈りなど「里山の日2」の準備
	12月 7日(日) 9:00	北大路どろんこと一ぶ//池周辺の整備
里山保全	11月 17日(月) 9:00	春日山公園//例会
	12月 6日(土) 9:00	春日山公園//例会
	12月 15日(月) 9:00	春日山公園//例会
	1月 10日(土) 9:00	春日山公園//例会
エネルギー	11月 4日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
	12月 2日(火) 9:00	平野コミュニティセンター//エコ料理教室リハーサル
	12月 2日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
	1月 6日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
委員会・実行チーム		
理事会	11月 25日(火) 10:00	市民活動センター//環境政策課と温暖化対策打ち合わせ
おおつ市民環境塾実行チーム	11月 1日(土) 10:00	春日山公園//講座7「里山は自然と文化の野外博物館」[11/3]
	11月 14日(金) 10:00	蹴上発電所//講座8「今なお発電続ける蹴上発電所見学会」
	11月 29日(土) 14:00	市民活動センター//講座9「琵琶湖の在来魚の産卵環境を考える」
	12月 7日(日) 10:00	平野コミュニティセンター//講座10「地球にやさしい簡単料理」
自然家族事業実行チーム	11月 15日(土) 9:30	春日山公園//里山の日2「リースづくりとドングリあそび」[11/16]

* 大津市センター；大津市地球温暖化防止活動推進センター（明日都浜大津4F）